

香田優一選手がフロアボール世界選手権の結果を報告

次のステージに向けて意欲を新たに  
香田優一選手がフロアボール世界選手権の結果を報告

フロアボール日本代表選手として世界選手権に初出場した香田優一さんが12月21日、浜田正利町長のもとを訪れ、大会結果を報告しました。  
日本は世界の強豪国を相手に健闘し15位という結果でした。  
香田さんは「他国とのレベル差を肌で感じた。2年後のフィナンランドで開催される大会出場を目指していきたい」と話しました。



浜田町長に世界選手権での結果を報告した香田さん(右)

VOICE

ボイス 1町の声



●新得の町並みや景観の整備について

新しく建物を建築したり改修するときに、建物の色や形などに一定の統一感を持たせることで訪れたい町となるのでは。ヨーロッパや日本の伝統的な町並みのような美が現代の日本の町には必要だと思います。  
(40歳代男性)

お答えします

美しい町並みや景観づくりを進展させる具体的なルールの制定までには至っていないのが現状です。  
今後は町民の皆様のご意見を広く聞き、また観光客のご意見を取り入れる仕組みを検討してまいります。多くのご意見から、都市計画や町並み、景観づくりにも反映させたいと思います。  
(施設課公園道路係)

●商店街の振興について

新得の商店街は商店としては空き物件ですが、住居を兼ねているせいか賃貸物件が出にくいです。  
町が仲介に入り、新しい事業者を積極的に受け入れる体制を設けることがもって出来るはずでは。新しく入居する方が改修できるようにしなくてはチャレンジショップから次の展開になりません。  
また、新得には集客できる商業施設(道の駅や産直市場など)がないと思います。  
テナントが入居する施設を大きく造るといふより、小商いを営む方を商店街に誘致する仕組み(飲食業、小売販売業、工芸品など)は他の地域でも前例があり、若い人を街中に呼び込むこととなり需要があるのではと思いますので、そのための起業支援を積極的に行っていただきたいです。  
(40歳代男性)

お答えします

現在、町では空き店舗等の個人売買や賃借に際し、間に入っている仲介は行っておりません。あくまでも情報の紹介、更新のみとなっております。  
「借りたい、購入したい人」に対して「貸したい、売りたい人」の情報を提供することは可能ですので、随時情報を提供してまいります。  
今後、民間事業者が空き店舗等を取引し貸出する動きがあるという情報を得ておりますので、改修費の支援ができないかなどを検討してまいります。  
起業支援については、「商工業活性化事業」のなかで新規開店や空き店舗等の改修等に対する支援があり、ご相談は随時受付しております。  
チャレンジショップは多額の予算をかけず、長屋のようなチャレンジショップを展開している先進事例もありますので、どのような方法が町に合っているか検討してまいります。  
(産業課商工労働係)

広報モニターからの声

広報モニターさんから「広報しんとく12月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼特集記事について

●子どもたちの質問はよく吟味し練りこまれたもので、再質問も鋭く得たもので感心しました。答弁された町長、教育長の発言も具体的にわかりやすいものだと感じました。

●子どもたちが自由に使えるスペースの設置に関しては本当にないと思います。特に、中高生が集まれる場所がありません。公民館のふれあいホールの前にあるソファや駅の待合室で集まるようですが少し寂しいです。

●成人年齢が引き下げられ、子どものうちから国や社会、経済を考える良い取り組みだと思えます。全体的に日常からの疑問や要望が多く小学生らしい内容ではあったのですが、もう少し国や時代の流れ、町の事業への指摘など広くとらえられるように多少大人が誘導するのもよいかと思えます。

●子どもたちの真剣なまなざしがとらえられており、議会の臨場感が伝わります。大人と対等に話す機会はそのうちあるものではないのでとても良い機会だと思います。

○「まち・ひと・しごと・総合戦略」の進捗状況について

●評価指標が目に見える数値で示されているのでわかりやすいです。ただ、実績上は指標に届いていないのに進捗状況がAになっていたり、逆に数値を達成していてもBになっていたりします。データ上には出てこない具体的な議論があるものと推察しますが、その部分が知りたいです。

●「新得らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す」の目標で、移住者数と転入者数のデータが示されています。転入者が増えていることは喜ばしいことです。少子高齢化で人口の自然減は仕方ないことと思いますが、それ以外の転出に関する理由を精査する必要があるのではないかと思います。

▼その他の記事について

○「子どもの学力・学習状況調査」について  
毎年理科の数値が高かったと記憶しており、自然環境と子どもの興味関心の結果なのかと思います。他教科もいかに日常生活から子どもに関心を集めるかが重要かと感じました。

▼12月号全体について

「まちの動き」や「町長室からこんにちは」で世界クラスで活躍するスポーツ選手3人が紹介されていました。小さな町の町からこれだけの人材が輩出されるのは素晴らしいことだと思いますので、もっとその功績が広まるように紹介しても良いと思います。



ひびく手話講座

NO.52

○趣味はスキー(スケート)です

①趣味

開いた右手を頬から頬へ動かしながら握り下ろす



②スキー



人差し指を上に向けて揃えた両手を同時に前に出す(スキーの板を表現)

③スケート



両手の指先を前に向け、交互に斜め方向に前後する(スケートの足の運びを表現)

今月号のモデルは、新得手話の会の柴田絵美さん(新得地区交通安全協会事務員)です。